

令和 2 年版

佐賀県環境白書

環境白書の刊行にあたって

本県は、有明海と玄界灘という特性の異なる二つの海に面し、内陸部は緑豊かな山々、肥沃な平野が広がるなど、多彩な自然環境を織り成しています。

佐賀の自然、環境の豊かさは、県民の心を豊かなものにし、また、安らぎを与えてくれます。弥生人の声が聞こえるといわれる吉野ヶ里遺跡や陶磁器などの全国に誇れる佐賀の歴史や伝統ある産業は、この豊かな環境の中から生まれてきました。

このような豊かな佐賀の環境、文化を守り、育んでいくための基盤である「人づくり」を積極的に推進することで、次の世代へ繋げていきたいという想いを込め、平成27年度に策定した「第3期佐賀県環境基本計画」では、「明日へとつなぐ、“さかの環境“」を計画のキャッチフレーズとし、一日一日の取組を明日へと確実につないでいこうと、各施策を推進してきたところです。

なお、令和3年3月には「第4期佐賀県環境基本計画」を策定し、さらに取組を推進していくこととしています。

この「令和2年版佐賀県環境白書」は、令和元年度の本県の環境の状況や県が実施した環境保全に関する施策について取りまとめたものです。

本書が、県民の皆様の環境に対する理解を深め、恵み豊かな佐賀の環境を将来の世代にしっかりと引き継いでいくための具体的な行動の一助となれば幸いです。

令和3年3月

佐賀県県民環境部長 原 惣一郎

令和2年版環境白書・目次

第1部 総説

| | |
|-----------------|---|
| 第1章 佐賀県の概要 | 1 |
| 第2章 環境政策の指針 | 3 |
| 第3章 令和元年度トピック | 5 |
| 第1節 波戸岬キャンプ場の整備 | 5 |

第2部 環境の現況と対策

| | |
|-----------------------------|-----|
| 第1章 地球温暖化対策・再生可能エネルギー等の推進 | 7 |
| 第1節 地球温暖化対策、省資源・省エネルギーの推進 | 7 |
| 1 省資源・省エネルギー等を通じた低炭素化の推進 | 9 |
| 2 オゾン層保護・酸性雨対策 | 15 |
| 3 森林整備等を通じた吸収源対策等の推進 | 17 |
| 4 地球温暖化適応策 | 18 |
| 第2節 再生可能エネルギー等の推進 | 22 |
| 1 再生可能エネルギーの普及促進 | 22 |
| 第2章 安全・安心で快適な生活環境の保全 | 25 |
| 第1節 大気環境の保全 | 25 |
| 1 大気汚染防止対策 | 25 |
| 2 悪臭対策 | 48 |
| 3 騒音・振動対策 | 49 |
| 4 光害対策 | 60 |
| 第2節 水環境・土壌環境の保全 | 61 |
| 1 水環境の保全 | 61 |
| 2 土壌環境の保全 | 101 |
| 3 地盤環境の保全 | 102 |
| 第3節 玄海原子力発電所周辺環境安全対策 | 109 |
| 1 玄海原子力発電所周辺の環境放射能調査 | 109 |
| 2 温排水影響調査 | 118 |
| 第4節 化学物質等による環境リスクの低減に向けた取組 | 124 |
| 1 化学物質の適正管理・適正利用の推進 | 124 |
| 2 食品中の有害物質や残留農薬の調査の実施 | 130 |
| 第3章 循環型社会の実現 | 134 |
| 第1節 循環型社会の形成促進 | 134 |
| 1 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進 | 134 |
| 2 地域循環圏の形成促進 | 140 |
| 第2節 安全・安心な廃棄物対策 | 141 |
| 1 廃棄物の現況 | 141 |
| 2 適正処理の推進 | 147 |
| 3 非常時等の廃棄物対策 | 150 |
| 第4章 多様な自然環境の保全・活用 | 152 |
| 第1節 生物多様性の保全・活用～生物多様性佐賀県戦略～ | 152 |
| 1 現況 | 152 |

| | |
|-------------------------------|-----|
| 2 情報の集約による現状把握 | 154 |
| 3 保全・維持が必要な種・生態系の選定 | 155 |
| 4 生息・生育環境の保全・再生・創出 | 156 |
| 5 普及と活用 | 160 |
| 第2節 鳥獣の保護 | 166 |
| 1 現況 | 166 |
| 2 対策 | 166 |
| 第3節 有明海の再生 | 169 |
| 1 現況 | 169 |
| 2 原因究明のための調査研究等の推進、再生策の検討 | 170 |
| 3 有明海再生に関する佐賀県計画の推進 | 170 |
| 4 有明海再生のための環境保全活動の推進 | 171 |
| 第4節 地域環境の保全と再生 | 173 |
| 1 現況 | 173 |
| 2 多様な森林（もり）・緑づくり | 174 |
| 3 農地の保全と活用 | 177 |
| 4 水と緑のネットワーク | 179 |
| 5 農地等の防災保全 | 180 |
| 6 干潟・海岸域などの保全 | 181 |
| 第5節 自然環境の利活用 | 181 |
| 1 生物多様性の活用 | 181 |
| 2 地域資源の利活用 | 181 |
| 第5章 環境を考えて行動する人づくり | 184 |
| 第1節 環境教育・環境学習等の推進 | 185 |
| 1 幼児期からはじめる環境教育の推進 | 185 |
| 2 県民に開かれた環境学習の機会の提供と活用 | 187 |
| 3 環境について教えることのできる人材の育成と活用 | 190 |
| 第2節 各主体のネットワークによる環境への取組の推進 | 192 |
| 1 県民・CSOの環境保全活動の推進とネットワーク化の推進 | 192 |
| 2 事業者の自主的活動の推進 | 194 |
| 3 佐賀県の事業者としての環境保全率先行動の推進 | 198 |
| 第6章 環境を考えた地域づくり | 202 |
| 第1節 環境情報の充実と発信 | 202 |
| 1 化学物質環境実態調査 | 202 |
| 2 日韓海峡沿岸環境技術交流事業 | 202 |
| 3 環境関連情報サイト | 204 |
| 第2節 危機管理体制の充実 | 205 |
| 1 光化学オキシダント | 205 |
| 2 微小粒子状物質（PM _{2.5} ） | 205 |
| 3 異常水質 | 206 |
| 4 地下水汚染 | 206 |
| 第3節 多様な環境保全の手法の活用 | 207 |
| 1 特定工場における公害防止組織の整備 | 207 |
| 2 事業者の環境対策に対する助成 | 209 |
| 3 予防的・予見的手法の推進 | 209 |

| | |
|-------------------------------|-----|
| 4 環境問題による被害の救済措置の推進 | 212 |
| 第4節 環境関連・環境負荷の少ない産業の振興 | 217 |
| 1 農林水産業 | 217 |
| 2 第2次産業・第3次産業 | 220 |
| 第5節 豊かで潤いのある地域づくり | 221 |
| 1 緑化の推進とゆとり空間の創造 | 221 |
| 2 佐賀らしい景観の保全と創造 | 222 |
| 3 歴史的・文化的遺産の保存と活用 | 225 |
| 4 空き家対策 | 227 |
| 第6節 環境負荷低減に向けた生活圏・交通体系づくり | 228 |
| 1 都市計画区域の指定及び都市計画区域マスタープランの策定 | 228 |
| 2 交通基盤整備 | 229 |
| 3 環境負荷低減に向けた住環境対策 | 232 |
| 第7節 広域的取組（共同調査研究など） | 234 |
| 1 国際的連携の推進 | 234 |
| 2 諸外国の活動への協力 | 234 |
| 第3部 計画の推進・進行管理 | |
| 1 環境指標 | 235 |
| 2 環境日誌 | 236 |
| 参考資料 | |
| 1 佐賀県環境基本条例 | 237 |
| 2 環境関係法律・条令体系図 | 244 |